



経営成績の状況等

▶ 事業環境と当社の対応

2020年度(以下、当連結会計年度)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による世界規模での影響が長期化する中でも、2020年5月の緊急事態宣言の解除後は経済活動も緩やかに回復していましたが、2020年11月頃より感染が再拡大し、その後も一進一退の不透明な状況が続きました。また、2020年末から年始にかけて数年に一度の強い寒波の断続的な流入により、電力需給のひっ迫が発生しました。

このような中、当社は、2020年4月、発電所における新型コロナウイルス対策として、運転員以外の制御室への立ち入り禁止等の感染予防・拡大防止策や運転経験者による代替班の体制整備等の事業継続策を策定し、電力の安定供給に努めました。2020年末から翌年1月における電力需給のひっ迫に対しては、少しでも供給力を提供すべく、2020年10月以降、11月から2021年2月に入着するスポットLNGを約300万トンと、過去に例のない規模で確保するなど、最大限の追加調達の実施及び在庫の最適化等を行い、全国の電力需給の安定化に貢献しました。

また、世界的な脱炭素の流れの中、当社は、2019年4月に制定した「環境目標」を基に、これまでもCO₂排出量の削減に取り組み、国内最大の発電事業者として、脱炭素社会の実現を積極的にリードしていく立場にあることから、これまでの取り組みを一層加速させるとともに、長期的に目指す姿を明確にすべく、2020年10月に「JERAゼロエミッション2050」を策定しました。そして、国内事業において「JERAゼロエミッション2050」を実現していくためのロードマップを策定するとともに、2030年時点での新たな環境目標も制定しました。

さらに、2020年10月には、火力発電所のO&Mをデジタル技術によって変革する「デジタル発電所」ビジョンを策定し、発電所の全ての設備と働く人のデータをつなぎ、リアルタイムで

可視化・活用する「デジタル化」と、常に磨き込みを深化させているO&Mの「Kaizen力」、さらにこれまで培ってきた「技術力」を掛け合わせ、新たな価値を創造していくことで、発電設備のコスト競争力と市場対応力を向上させる取り組みを進めています。

▶ 経営成績の状況

売上高は、資源価格の低下に伴い収入単価が減少したことに加え、販売電力量が減少したことなどにより、2019年度(以下、前連結会計年度)に比べ5,498億円減少し2兆7,301億円となりました。経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大による収支悪化影響などはあったものの、フリーポートLNGプロジェクト運転開始通年化の影響や燃料トレーディング事業好調による子会社利益の増加などにより、前連結会計年度に比べ697億円増加し2,441億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ106億円減少し1,578億円となりました。

[燃料事業]

燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行っており、フリーポートLNGプロジェクト運転開始通年化の影響や燃料トレーディング事業好調による子会社利益の増加などから、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比べ229億円増加し480億円となりました。

[海外発電事業]

海外の発電事業等への投資を行っており、前連結会計年度に計上した海外発電案件売却益の反動影響や市況悪化等による海外発電案件の減損などから、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比べ437億円減少し76億円の損失となりました。

経営成績の状況等

国内火力・ガス事業

国内における電力／ガスの販売などを行っており、新型コロナウイルス感染拡大による収支悪化影響はあったものの、前連結会計年度に計上したLNG売却関連損の反動影響などから、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比べ170億円増加し1,528億円となりました。

財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ555億円増加し4兆908億円となりました。これは、国内火力リプレースによる有形固定資産が増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,052億円減少し2兆3,287億円となりました。これは、未払法人税などが減少したことなどによります。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,608億円増加し1兆7,621億円となりました。

この結果、自己資本比率は、41.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比べ1,592億円増加し、5,616億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローによる資金の収入は、前連結会計年度に比べ2,108億円減少し3,408億円となりました。これは、税金支払が前連結会計年度と比較して多額であったことなどによります。

投資活動によるキャッシュ・フローによる資金の支出は、前連結会計年度に比べ387億円減少し2,720億円となりました。これは、投資有価証券の取得への支出が減少したことなどによります。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ1,720億円減少し687億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローによる資金の収入は、前連結会計年度に比べ5,415億円増加し895億円となりました。これは、社債の発行及び前連結会計年度に借入金の返済が多額であったことなどによります。

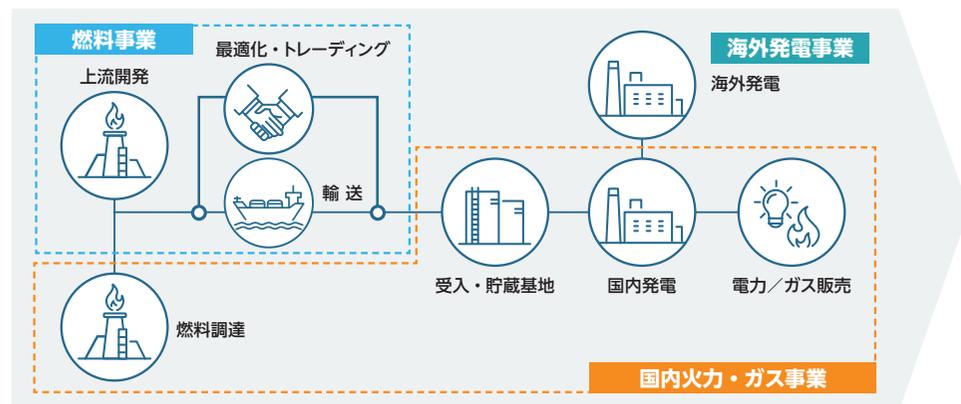
設備投資

当社グループ（当社及び連結子会社）の設備投資は、主に国内火力・ガス事業において、効率化に努めつつ、電力の長期安定供給を図ることを基本方針として取り組むこととしています。当社グループの当連結会計年度における設備投資額は、グループ全体で225,997百万円となりました。セグメント別には、燃料事業が1,679百万円、海外発電事業が8,413百万円及び、国内火力・ガス事業が214,553百万円その他が1,351百万円となっています。

設備の新設、除却等の計画

連結ベースの2022年3月期の設備投資計画は、グループ全体で379,407百万円です。設備投資計画については、電力の安定供給の確保を大前提とした上で、中長期にわたる徹底的な経営合理化の観点から設備投資額を抑制するよう努めていきます。なお、重要な設備の除却、売却等の計画はありません。

バリューチェーンとセグメント区分



主な設備計画(火力)

(2021年3月31日時点)

| 会社名 | セグメントの名称 | 地点名 | 出力(千kW) | 着工 | 運転開始 |
|--------------------------|-----------|---------------|---------|---------|-------------------------|
| JERA/パワー横須賀合同会社 | 国内火力・ガス事業 | 横須賀1,2号 | 650×2 | 2019年8月 | 2023年6月、 2024年2月 |
| JERA/パワー姉崎合同会社 | 国内火力・ガス事業 | 姉崎 新1,2,3号 | 646.9×3 | 2020年2月 | 2023年 2月・4月・8月 |
| 五井ユナイテッドジェネレーション 合同会社 | 国内火力・ガス事業 | 五井1,2,3号 | 780×3 | 2021年4月 | 2024年8月・11月、 2025年3月 |
| JERA/パワー武豊合同会社 | 国内火力・ガス事業 | 武豊5号 | 1,070 | 2018年4月 | 2022年5月 |

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 資産の部 | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 459,178 | 616,132 |
| 受取手形及び売掛金 | 292,262 | 323,157 |
| たな卸資産 | 175,967 | 154,318 |
| その他 | 216,121 | 231,027 |
| 流動資産合計 | 1,143,531 | 1,324,636 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 359,102 | 348,272 |
| 機械装置及び運搬具 | 940,670 | 946,642 |
| 土地 | 331,653 | 331,653 |
| 建設仮勘定 | 348,563 | 374,504 |
| その他 | 9,688 | 8,958 |
| 有形固定資産合計 | 1,989,679 | 2,010,030 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 41,549 | 37,123 |
| 無形固定資産合計 | 41,549 | 37,123 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 613,305 | 559,401 |
| その他 | 247,258 | 159,689 |
| 投資その他の資産合計 | 860,564 | 719,090 |
| 固定資産合計 | 2,891,792 | 2,766,244 |
| 資産合計 | 4,035,324 | 4,090,880 |

(単位:百万円)

| 負債の部 | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 258,321 | 287,329 |
| 短期借入金 | 92,391 | 74,553 |
| その他 | 488,631 | 276,172 |
| 流動負債合計 | 839,344 | 638,055 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,413,565 | 1,498,737 |
| 退職給付に係る負債 | 434 | 472 |
| その他 | 180,712 | 191,494 |
| 固定負債合計 | 1,594,712 | 1,690,704 |
| 負債合計 | 2,434,056 | 2,328,760 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 資本剰余金 | 1,312,517 | 1,312,523 |
| 利益剰余金 | 248,562 | 379,415 |
| 株主資本合計 | 1,566,080 | 1,696,938 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | 290 |
| 繰延ヘッジ損益 | △41,505 | △4,384 |
| 為替換算調整勘定 | 15,947 | △6,650 |
| その他の包括利益累計額合計 | △25,558 | △10,744 |
| 非支配株主持分 | 60,745 | 75,926 |
| 純資産合計 | 1,601,267 | 1,762,120 |
| 負債純資産合計 | 4,035,324 | 4,090,880 |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 3,280,002 | 2,730,146 |
| 売上原価 | 3,058,839 | 2,422,130 |
| 売上総利益 | 221,162 | 308,015 |
| 販売費及び一般管理費 | 54,153 | 58,576 |
| 営業利益 | 167,008 | 249,438 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,621 | 2,144 |
| 受取配当金 | 2,995 | 8,406 |
| 固定資産売却益 | 496 | 2,540 |
| 持分法による投資利益 | 15,925 | — |
| その他 | 5,085 | 4,451 |
| 営業外収益合計 | 31,124 | 17,542 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,158 | 7,950 |
| 持分法による投資損失 | — | 3,406 |
| 為替差損 | — | 5,282 |
| 減損損失 | 5,821 | — |
| シンジケートローン手数料 | 5,569 | 4,631 |
| その他 | 4,154 | 1,514 |
| 営業外費用合計 | 23,703 | 22,786 |
| 経常利益 | 174,429 | 244,194 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 20,956 | — |
| 特別利益合計 | 20,956 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 16,376 |
| 特別損失合計 | — | 16,376 |
| 税金等調整前当期純利益 | 195,386 | 227,818 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 65,420 | 44,950 |
| 法人税等調整額 | △51,168 | 9,219 |
| 法人税等合計 | 14,252 | 54,169 |
| 当期純利益 | 181,134 | 173,648 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 12,591 | 15,795 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 168,543 | 157,852 |

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 181,134 | 173,648 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △31 | 271 |
| 繰延ヘッジ損益 | △24,494 | 41,993 |
| 為替換算調整勘定 | △6,597 | △6,434 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △7,762 | △19,561 |
| その他の包括利益合計 | △38,886 | 16,269 |
| 包括利益 | 142,248 | 189,918 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 130,648 | 172,666 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 11,600 | 17,251 |

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

| 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|--|-------|-----------|---------|-----------|------------------|---------|--------------|-------------------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 5,000 | 469,129 | 79,831 | 553,960 | △420 | △9,713 | 22,017 | 11,883 | 47,329 | 613,173 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 168,543 | 168,543 | | | | | | 168,543 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | 188 | 188 | | | | | | 188 |
| 会社分割による増加 | | 843,388 | | 843,388 | | | | | | 843,388 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | 420 | △31,791 | △6,070 | △37,441 | 13,416 | △24,025 |
| 当期変動額合計 | - | 843,388 | 168,731 | 1,012,119 | 420 | △31,791 | △6,070 | △37,441 | 13,416 | 988,094 |
| 当期末残高 | 5,000 | 1,312,517 | 248,562 | 1,566,080 | 0 | △41,505 | 15,947 | △25,558 | 60,745 | 1,601,267 |

(単位:百万円)

| 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|--|-------|-----------|---------|-----------|------------------|---------|--------------|-------------------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 5,000 | 1,312,517 | 248,562 | 1,566,080 | 0 | △41,505 | 15,947 | △25,558 | 60,745 | 1,601,267 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △27,000 | △27,000 | | | | | | △27,000 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 157,852 | 157,852 | | | | | | 157,852 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | 5 | | 5 | | | | | | 5 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | 290 | 37,121 | △22,597 | 14,813 | 15,180 | 29,993 |
| 当期変動額合計 | - | 5 | 130,852 | 130,858 | 290 | 37,121 | △22,597 | 14,813 | 15,180 | 160,852 |
| 当期末残高 | 5,000 | 1,312,523 | 379,415 | 1,696,938 | 290 | △4,384 | △6,650 | △10,744 | 75,926 | 1,762,120 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 195,386 | 227,818 |
| 減価償却費 | 197,940 | 187,737 |
| 減損損失 | 5,821 | 16,376 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,616 | △10,550 |
| 支払利息 | 8,158 | 7,949 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △115,177 | △28,213 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 2,177 | 22,674 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 171,139 | 25,188 |
| その他 | 86,413 | △51,490 |
| 小計 | 542,242 | 397,490 |
| 利息及び配当金の受取額 | 25,822 | 41,642 |
| 利息の支払額 | △7,814 | △8,936 |
| 法人税等の支払額 | △8,579 | △89,371 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 551,670 | 340,825 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △115,798 | △31,580 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 15,846 | — |
| 貸付けによる支出 | △4,126 | △4,974 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,633 | 650 |
| 固定資産の取得による支出 | △211,188 | △241,358 |
| 固定資産の売却による収入 | 3,806 | 1,461 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △1,511 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △2,950 | — |
| その他 | 1,913 | 5,221 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △310,863 | △272,092 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,645,769 | △23,975 |
| 長期借入れによる収入 | 1,344,698 | 149,746 |
| 長期借入金の返済による支出 | △151,186 | △62,409 |
| 社債の発行による収入 | — | 39,882 |
| 配当金の支払額 | — | △27,000 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,557 | △574 |
| その他 | 1,760 | 13,872 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △452,054 | 89,542 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2,701 | 977 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △213,948 | 159,253 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 269,587 | 402,431 |
| 吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 335,000 | — |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 11,791 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 402,431 | 561,685 |

財務状況に関する詳しい情報については有価証券報告書をご覧ください。

WEB 有価証券報告書等
https://www.jera.co.jp/corporate/ir/securities_reports

国内火力発電所

(2021年3月31日時点)



品川火力発電所



上越火力発電所



川越火力発電所

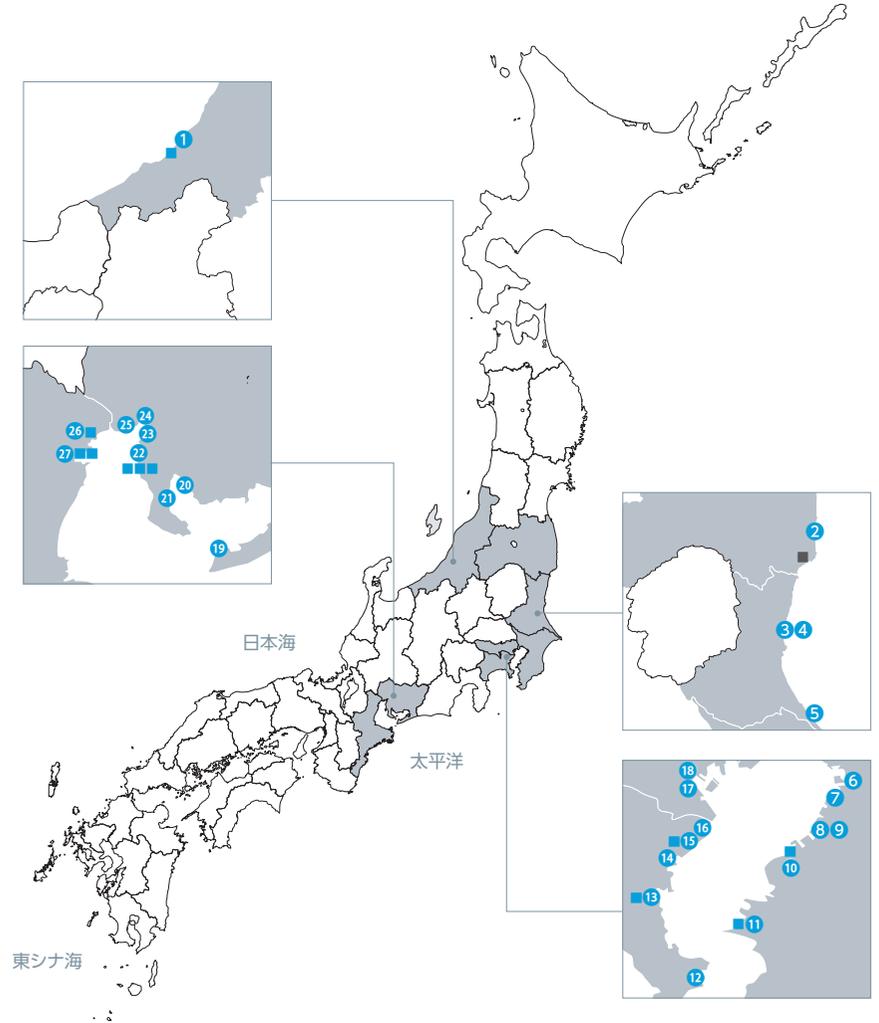
火力発電所一覧^{※1}(各火力発電所の合計出力/燃種)

◆ LNG ◆ 石炭 ◆ 重油 ◆ 原油 ◆ 都市ガス ■ LNG基地^{※2} ■ 石炭基地

| | | |
|---------------------------------------|-----------|------|
| 1 上越 | 238万kW | ◆ |
| 2 広野 | 440万kW | ◆◆◆◆ |
| 3 常陸那珂 | 200万kW | ◆ |
| 4 常陸那珂共同 (常陸那珂ジェネレーション) | 65万kW | ◆ |
| 5 鹿島 | 566万kW | ◆◆◆◆ |
| 6 千葉 | 438万kW | ◆ |
| 7 五井(五井ユナイテッドジェネレーション) | リプレースを計画中 | |
| 8 姉崎 | 360万kW | ◆ |
| 9 姉崎(JERAパワー姉崎) (2023年度に運転開始予定) | 194.1万kW | ◆ |
| 10 袖ヶ浦 | 360万kW | ◆ |
| 11 富津 | 516万kW | ◆ |
| 12 横須賀(JERAパワー横須賀) (2023年度に運転開始予定) | 130万kW | ◆ |
| 13 南横浜 | 115万kW | ◆ |
| 14 横浜 | 354.1万kW | ◆ |
| 15 東扇島 | 200万kW | ◆ |
| 16 川崎 | 342万kW | ◆ |
| 17 大井 | 105万kW | ◆ |
| 18 品川 | 114万kW | ◆ |
| 19 渥美 | 140万kW | ◆◆ |
| 20 碧南 | 410万kW | ◆ |
| 21 武豊(JERAパワー武豊) (2022年度に運転開始予定) | 107万kW | ◆ |
| 22 知多 | 396.6万kW | ◆ |
| 23 知多第二 | 170.8万kW | ◆ |
| 24 新名古屋 | 305.8万kW | ◆ |
| 25 西名古屋 | 237.6万kW | ◆ |
| 26 川越 | 480.2万kW | ◆ |
| 27 四日市 | 58.5万kW | ◆ |

※1 発電所名。◇は設置者(事業会社)名。

※2 知多・四日市地区は、他社との共同基地を含む。



海外事業とLNG調達国^{*}

(LNG調達国は灰色塗り■)



台湾・フォルモサ

© Formosa I Wind Power Co., Ltd. All rights reserved.



豪州・ウィートストーン

シェブロン・オーストラリア提供



米国・クリケットバレー

火力発電事業
 再生可能エネルギー事業
 燃料上流事業
 最適化事業



(2021年8月31日時点)
 IPP (Independent Power Producer: 卸発電事業者)
 IWPP (Independent Water and Power Producer: 卸発電造水事業者)
 SPP (Small Power Producer: 小発電事業者)
^{*} 当社の受入基地に輸入した国を表す。(2020年度)

1 オランダ

- リートランデン石炭ターミナル事業

2 英国

- ガンフリートサンズ洋上風力発電事業
- Zenobe蓄電池事業
- JERA Global Markets (最適化・トレーディング)

3 カタール

- ラス・ラファンB・ガス火力IWPP事業
- ラス・ラファンC・ガス火力IWPP事業
- メサイド・ガス火力IPP事業
- ウム・アル・ホール・ガス火力IWPP事業

4 UAE

- ウム・アル・ナール・ガス火力IWPP事業

5 オマーン

- スール・ガス火力IPP事業

6 インド

- ReNew Power風力・太陽光発電事業

7 バングラデシュ

- サミット・パワー社 IPP事業
- メグナハット・ガス火力IPP事業

8 タイ

- EGCO発電事業
- 工業団地内SPP事業
- 太陽光IPP事業
- ラチャブリ・ガス火力IPP事業
- 風力IPP事業
- 初殻発電事業

9 日本

10 台湾

- 彰濱／豊徳／星元・ガス火力IPP事業
- フォルモサ1洋上風力発電事業
- フォルモサ2洋上風力発電事業

11 フィリピン

- ティームエナジー発電事業

12 インドネシア

- チレボン・石炭火力IPP事業

13 オーストラリア

- ダーウィンLNG事業
- ゴーゴンLNG事業
- ウィートストーンLNG事業
- イクシスLNG事業

14 ベトナム

- フォーミー・ガス火力IPP事業

15 シンガポール

- JERA Global Markets (最適化・トレーディング)

16 米国

- テナスカ・ガス火力IPP事業
- キャロルカウンティ・ガス火力IPP事業
- クリケットバレー・ガス火力IPP事業
- リンデン・ガス火力IPP事業
- コンパス・ガス火力IPP事業
- フリーポートLNG事業
- JERA Global Markets (最適化・トレーディング)

17 メキシコ

- バジャドリド・ガス火力IPP事業
- ファルコン・ガス火力IPP事業

グループ会社一覧

(2021年3月31日時点)

連結子会社

| 名称 | 住所 | 主要な事業の内容 |
|--|--------------|---|
| ●JERA Power International B.V.* ¹ | オランダ アムステルダム | 海外発電事業等への出資・融資及び保証等 |
| ●JERA Australia Pty Ltd* ¹ | オーストラリア パース | 豪州における燃料事業の統括 |
| ●JERA Global Markets Pte. Ltd.* ¹ | シンガポール | 燃料トレーディング事業及びこれに付帯する事業 |
| ●Tokyo Timor Sea Resources Pty Ltd* ¹ | オーストラリア パース | 豪州・東チモール共同石油開発海域内におけるガス田開発事業への投資 |
| ●株式会社常陸那珂ジェネレーション* ¹ | 茨城県那珂郡東海村 | 火力発電所の発電及びこれに付帯する事業 |
| ●エルエヌジー・マリン・トランスポート株式会社 | 東京都千代田区 | 液化天然ガスの海上運送事業及びその代理業 |
| ●JERA Asia Pte. Ltd. | シンガポール | アジア地域における電力・ガス関連プロジェクトの開発事業 |
| ●JERAパワー横須賀合同会社 | 神奈川県横須賀市 | 火力発電所の発電及びこれに付帯する事業 |
| ●JERAパワー姉崎合同会社 | 千葉県市原市 | 火力発電所の発電及びこれに付帯する事業 |
| ●知多エル・エヌ・ジー株式会社 | 愛知県知多市 | 液化天然ガスの受入・貯蔵・気化及び送り出しに関する業務 |
| ●五井ユナイテッドジェネレーション合同会社 | 千葉県市原市 | 火力発電所の発電及びこれに付帯する事業 |
| ●JERA Power (Thailand) Co., Ltd | タイ バンコク | タイにおける発電所の運転保守及びエンジニアリングサービス(上記事業への出資) |
| ●東電フエエル株式会社* ² | 東京都江東区 | 石油製品の販売、火力発電用燃料設備の運転管理、発電所の防災業務等 |
| ●JERAパワー武豊合同会社 | 愛知県知多郡武豊町 | 火力発電所の発電及びこれに付帯する事業 |
| ●JERA Americas Inc. | アメリカ デラウェア | 米州における発電事業・燃料事業の統括(米国発電事業等への出資・融資及び保証等) |
| ●JERA Americas Holdings Inc. | アメリカ デラウェア | 米州における発電事業・燃料事業の統括 |

その他48社

※1 5社は特定子会社に該当する。なお、その他48社のうち、特定子会社に該当する先は、JERA Trading International Pte. Ltd.、JERA Ichthys Pty Ltd、JERA Gorgon Pty Ltd、Tokyo Electric Power Company International B.V.、JERA Power Management Asia B.V.、Reliance Bangladesh LNG & Power Ltd.、Chubu Electric Power Integra Pty Ltd、JERA Darwin Investment Pty Ltd、JERA Darwin LNG Pty Ltd、Cygnus LNG Shipping Limited、JERA Storage Investment B.V.、Pacific LNG Shipping Limited、Pacific Eurus Shipping Limited、Tokyo Timor Sea Resources Inc.、JERA Global Markets Netherlands B.V.、JERA Global Markets North America, LLC、JERA Global Markets UK Ltdである。

※2 2021年7月に社名を株式会社ネクセサイズに変更。

持分法適用関連会社

| 名称 | 住所 | 主要な事業の内容 |
|--------------------------|-----------|--------------------|
| ●相馬共同火力発電株式会社 | 福島県相馬市 | 火力発電所の運転・保守及び電力の販売 |
| ●常磐共同火力株式会社 | 東京都千代田区 | 火力発電所の運転・保守及び電力の販売 |
| ●鹿島共同火力株式会社 | 茨城県鹿嶋市 | 火力発電所の運転・保守及び電力の販売 |
| ●君津共同火力株式会社 | 千葉県君津市 | 火力発電所の運転・保守及び電力の販売 |
| ●TeaM Energy Corporation | フィリピン マニラ | フィリピンでの発電事業 |

その他37社

組織図

(2021年7月1日時点)



会社概要

| | |
|-------------|---|
| 会社名 | 株式会社JERA (JERA Co., Inc.) |
| 所在地 | <p>[本社] 〒103-6125 東京都中央区日本橋2丁目5番1号 日本橋高島屋三井ビルディング25階 TEL: 03-3272-4631 (代表) FAX: 03-3272-4635</p> <p>[東日本支社] 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号 日比谷国際ビル9階 TEL: 03-3272-4631 FAX: 03-6363-5781</p> <p>[西日本支社] 〒450-6318 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1番1号 JPタワー名古屋18階 TEL: 052-740-6842 FAX: 052-740-6841</p> |
| 設立日 | 2015年4月30日 |
| 資本金 | 50億円 |
| 出資比率 | 東京電力フエエル&パワー株式会社…50% 中部電力株式会社…50% |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●火力発電事業 ●再生可能エネルギー事業 ●ガス・LNG事業 ●上記各事業に関するエンジニアリング、コンサルティング など |
| 従業員数 | 4,907名(2021年3月31日時点) |

Jera

エネルギーを新しい時代へ

株式会社 JERA

〒103-6125 東京都中央区日本橋2丁目5番1号

日本橋高島屋三井ビルディング25階

Tel: 03-3272-4631 Fax: 03-3272-4635

www.jera.co.jp

UD
FONT
by MORISAWA



世界を変える
エネルギーを。

2050年、JERAは
CO₂排出量ゼロに挑戦します。

CENTRAL LEAGUE
TITLE PARTNER

Jera



いつだって次の時代をつくるのは
困難に立ち向かっていく挑戦者たち。
選手たちの闘う姿を見ていると
自分も頑張ろうと思うチカラが湧いてきます。

日本最大の発電会社であり
その活動範囲を世界へと広げている私たちJERAも同じ気持ちです。

2050年CO₂排出量ゼロという目標を掲げた
「JERAゼロエミッション2050」への挑戦は
あたらしい未来を切り開くと信じています。

選手たちが、たった一球で試合の流れを変えてしまうように
私たちが規模、技術力、アイデアで世界に一石を投じていきます。
エネルギーを、そして、野球を通して文化・スポーツの振興を
次の時代へ。

JERAはセントラル・リーグの応援にエネルギーを注いでいます。

Jera セ・リーグ

当社は、プロ野球が標榜する「野球の推進を通してスポーツの発展に寄与し、日本の繁栄と国際親善に貢献すること」という事業目的に共感し、野球の発展のために堅実な歩みを続けるセントラル・リーグに特別協賛しています。